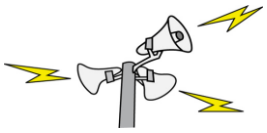
【保存版】
No. 60

2021年（令和3年）
11月15日発行

熊　地　区
防災のお知らせ



熊地区自主防災会
情報部

『どこで過ごすかの判断！！』

建物の当面の使用可否について、自治体が応急危険度判定をします。
自治体などからの支持が特にない場合、被災後に自宅にとどまるかどうか、２段階で判断するとよいでしょう。
また、避難所だけではなく、
一時的に遠方の知り合いを頼ることも検討してみては。

判断❶　危険を見極める

チェックポイント

◎　自宅の家屋に被害があるか？倒壊のおそれがあるのか？
◎　隣家の倒壊などで自宅に影響があるのか？
　　火災・津波・液状化などの二次災害の心配はあるのか？

危険がなければ判断❷へ

不安に感じたり危険と判断したら避難所へ

判断❷　生活ができるか確認

チェックポイント

◎　他人のサポートがなければ、暮らしていけないのか？
◎　家族状況・健康状態・ペット等を考慮したか？

自宅での生活が出来なければ避難所へ

不安がなければ自宅にとどまる

在宅避難

自宅周辺の安全なスペースを確認

車中避難・テント避難

・公園や公共施設の駐車場
・避難所にも車中避難・テント避難スペースがあります。

避難所へ

※　応急危険度判定が実施された場合は、判定結果にしたがってください。